

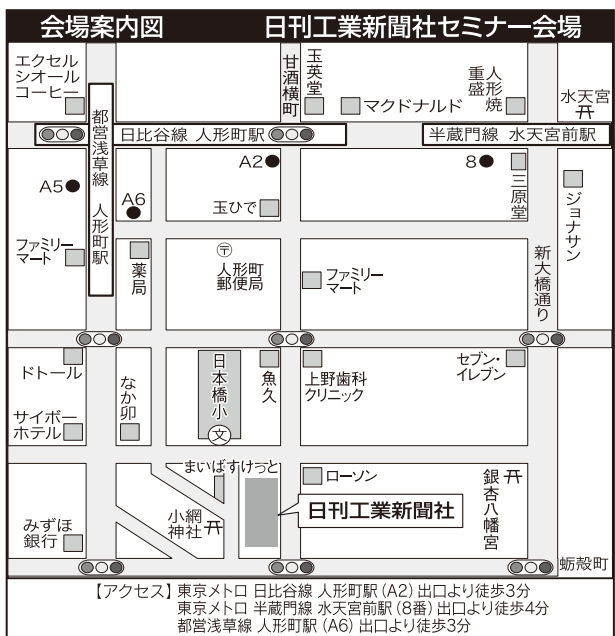
防爆エンジニアリングと 防爆機器の開発・申請

日時 2019年9月27日(金) 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 43,200円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからもお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講 申込書

9/27 防爆エンジニアリング

お申し込みは FAX 03-5644-7215

●受講料：43,200円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒		
	E-mail :	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190334

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

防爆は化学プラントや工場などで使用している爆発性ガスの爆発を防止することです。日本をはじめ海外諸国も防爆環境の整備や防爆機器の使用を法令と規格で定めています。

本セミナーは、以下をご理解いただくためのご説明をいたします。

- 1) 危険場所において爆発を予防するための防爆環境の整備について
- 2) 防爆規格や設計要領をご説明し、初心者でも防爆機器の開発に取り組むための申請、認証

講師

株式会社グーバークリエーション 代表取締役 **吉川 修** 氏

【略歴】 横河電機株式会社において30年間エンジニアとして、商品企画、製品開発、生産指導（国内、中国、米国）に携わる。現在、技術コンサルタントとして、下記の指導、サポートにあっている。
●商品企画、開発サポート、生産改善、コストダウンの指導
●ISO9001認証取得、防爆（TIIS、ATEX、FM、UL、CSA、NEPSIなど）CEマーキング・圧力機器（PED）各技術指導、申請代行（資格等）ISO9001登録審査員、日本機械学会、計測自動制御学会、EHEDG登録会員

プログラム

- 1. 防爆機器の概要**
 - (1) 爆発と安全保護
 - (2) 防爆機器と関連法令、規格
 - (3) 防爆機器に求められること
 - (4) 国内防爆と海外防爆
- 2. 防爆機器の使い方**
 - (1) 防爆機器とは
 - (2) 防爆機器の選定
 - (3) 設置
 - (4) メンテナンス
- 3. 防爆規格に基づく製品開発**
 - (1) 防爆機器の仕様と開発設計
 - (2) 主な保護構造の設計要件
- 4. 認証のための評価試験と申請要領**
 - (1) 規格適合性の検証と評価試験
 - (2) 申請要領、要件と設備
- 5. 費用と期間**
 - (1) 費用（申請、認証費用）
 - (2) 期間（開発、申請、審査）